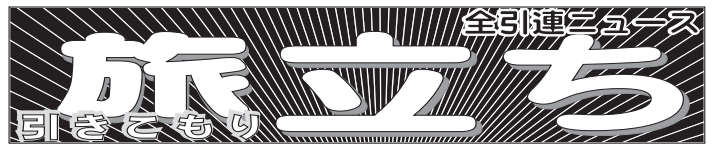


予告 東京大会

11月13日(土)～11月14日(日)

制度加入を果たし、現状を開こう！



NPO 法人 (内閣府認証) 全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) 代表 奥山 雅久
第56号 発行日 平成22年5月2日 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町1-3-3
(隔月発行) FAX 048-758-5705 ホームページ <http://www.khj-h.com>

大転換へ向う引きこもり案件！

引きこもり 様々な支援や究極のセーフティネットを目指して

全引連KHJが内閣府「障がい者制度改革会議」に
呼ばれ制度へ加入包含を要望
四月十九日

■改革会議での障害者定義の
拡大で引きこもりと難病包含へ

※障がい者制度
(我が国最大の保
健福祉予算四兆数
千億円)

四月新年度へ入り「関連新法の施行」「本格ガイドライン6月」「三大疾患の一つ「心の健康構想会議」設立」「障がい者制度改革推進会議で定義の拡大へ」等メンタルヘルスに関し四つの大改革が同時に進行し始めた！これ等の大きな変革が今、内閣府共生社会統括主導で同時に調整動き出してきた。

全引連KHJ本部は、これ等全ての行事に招請されコミットした。つまり、引きこもりを対象に制度への包含の流れが始まって来た。今こそ全国の当該家族の正念場が未来に向けやって来た。

より長期重篤な仲間を救うべく全国的に認識し結束をして行こう。

(※写真は内閣府同改革会議公開動画から転写)

4つの大きな動き (同時進行)

- ◆4月新年度からの引きこもり・ニートを主眼とした 新法「子ども・若者育成支援法」の施策開始
- ◆2月の内閣府公開講座や厚労省系シンポでの「引きこもりガイドライン」のプレ開示、5～6月通知へ
- ◆4月3日の長妻厚労大臣提唱の本邦3大疾患の一つ「こころの健康構想会議」設立への引きこもり当会の参加
- ◆内閣府での「障がい者制度改革推進会議」の4月19日に、当引きこもり家族会へ内閣府からのヒアリングの要請陳述



福島 瑞穂 大臣
内閣府共生社会担当大臣



東 俊裕 室長
内閣府障がい者制度改革推進会議 室長



藤井 克徳 議長
日本障害フォーラム幹事会 議長



陳述者
全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会) 本部理事長 奥山雅久

内閣府「障がい者制度改革会議」で全引連KHJ陳述



←川崎 洋子 委員
NPO 全国精神保健
福祉会連合会 理事長

どうしても、ここを受け入れ、越えなければ、長期重篤な引きこもり者は抜本的生存権の獲得と支援が得られません。

次頁へ続く

内閣府「障がい者制度改革推進会議」への全引連KHJからの陳述意見書

★下記意見具申の動画は当会ホームページ <http://www.khj-h.com> のトップ面のバナーの **new** をクリック

1意見書「制度の谷間にある引きこもり」

全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）
本部理事長 奥山雅久

当障がい者制度改革推進会議の目指すべき基本テーマである、障がいの範囲、定義の撤廃としての障がいの谷間となっている、いわゆる「引（ひ）きこもり」の緒症状（疾患、障害）↓精神疾患、障害による引（ひ）きこもりを加入させる必然性を具申致します。

・その論拠として、今6月に厚労省から出される「引きこもりのガイドライン」では、診断基準であるDSM-14やICD-10に含まれる全ての障害概念を対象に含むとあります。



るばかりでなく、このことへの官民協働への基盤的な制度として当該制度が貢献することとなります。

・そして、青年から壮年化へと蓄積してしまっている長期重篤な引きこもり者へと遷延化している現状の阻止が図られ、いわゆる動態論のなかで、*二次障害への移行の阻止が、国家財政の*費用対効果面でも当該制度が貢献することとなります。

・さらには、いま一つの困窮閉塞している「既に長期重篤な大人の引きこもり者」への支援や生存権の担保は、当該制度が当事者や当該家族への大きな希望の光となり、励ましとなり憲法第二十五条に鑑み叶うところです。

・すなわち、統合失調症、発達障害、不安障害、パニック障害、強迫性障害、気分障害、適応障害、強迫性障害、パニック障害等や重度の摂食障害、PTSD、癲癇、解離性障害等を指します。（主に上記精神疾患、障害者等で未受診の引きこもり）

・当該制度への加入は、引きこもりのこれらの障害への早期対応の促進が図られ易くなる。従って専門家の育成や対応スキルの集積、回復プロセスへの社会環境整備等が促進される

*：栄養障害や栄養不良による脊髄の湾曲、放置した為の骨折、発声障害等の身体疾患の合併症、知能の高度な低下などによる生活機能障害（ひきこもり外来医師の報告、他に全身衰弱による瑕疵や歩行困難等

*：大人の引きこもり当事者の生活費100万円/年間×100万人＝1兆円、現在は100万軒の老いた親が面倒みているが、親亡き後国家の財政が…

3意見書 ◇長期化・重篤化したひきこもりへの支援の必要性について

新潟市 特別医療法人佐潟荘 精神科・心療内科
医学博士 中垣内 正和



私は、2000年の柏崎監禁事件以来、ひきこもり外来を拓いて、親の相談をうけ、主として親を強化する方法によつて、ひきこもり当事者の家族との来院を図り、9年間で約172名の当事者の来院を得た。精神療法、社会参加プログラム、集団療法、薬物療法、居場所・自助グループ・親の会の設置など複合的な方法を駆使して対応し、当事者の6割近くは就学・就労などの社会参加を開始するにいたった。

平成22年2月、論文「長期ひきこもりにおける心身機能の変化」（アディクションと家族誌）に発表するにあたり、15年以上のひきこもり者15名（全体の9%）を長期化群として抽出したところ、平均して17歳か

ら開始して、その期間は約20年にも及び、受診時には37歳に達していた。この群は、ひきこもり問題が騒がれた西暦2000年にはすでに平均30歳となり、10年のひきこもりを経過していた群である。

受診時にうつ病、被害妄想、興奮状態などの精神疾患を合併したケースも少なくなく、総じて高度の「生活機能障害」を引き起こしており、経済の自立はおろか、生活障害、うつ病性障害、発達障害に広げることによって、2、3次予防の充実を図ることができない。しかし、すでに長期化群に対する対策はいまだ大きく不足し、新ガイドライン（予定）においても焦点は十分当たっていない。

「長期化を予防する」との重要性」と「生活機能障害をきたしたひきこもりに対する精神保健福祉的な対応」の緊急の必要性を訴えたい。

（了）

■全引連の全国各地区会が今目指すこと！

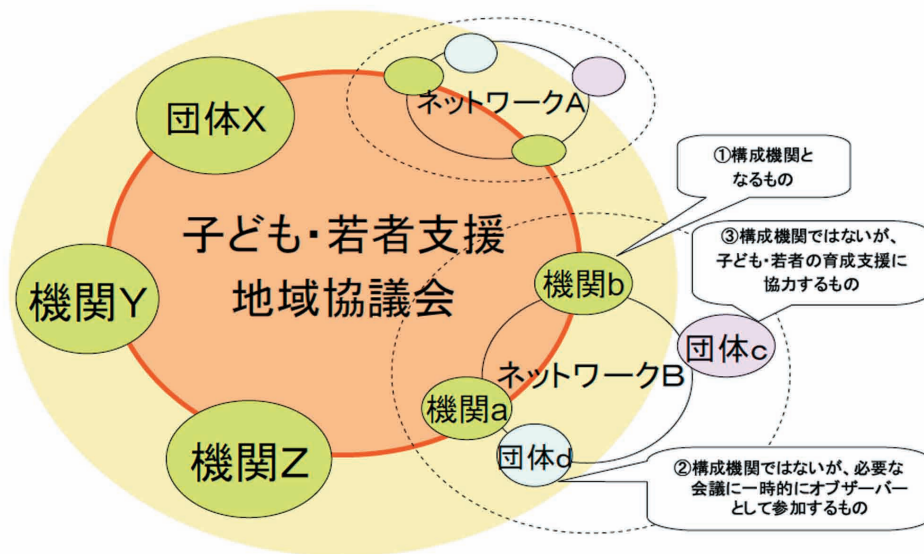
◆新法の施策で、家族・当事者が血の通った柔らかな対応を得ていく為には、やはり、親の会（家族会）がこの「子ども・若者総合相談センター」のネットワークに入れるよう県や市町村に働き掛けることが大切です！

◆その為には、今こそ、各地区会は、県や市町村に「会報」や「旅立ち」などを届けたり送付し、公的イベントにも積極的に参加し、会の存在を知らしめ、新法での担い手団体を目指そう！（官民協働の視点で）

目指すは、新法の各自治体での「子ども・若者総合相談センター」でのネットワークの構成団体や、そこから指定される指定機関や団体のひとつとなる様目指すことです。新法に基づく相応の予算が付くはずです。

他の3障害に準じて引きこもりにもやっと本格的活動予算が付いた 腰の据わった支援活動の要件

（参考）既存のネットワークを組み込んで協議会を形成していくイメージ



既存のネットワークはそれぞれの特性を生かしつつ、協議会ネットワークの一部となることが望まれる。

ができてゆくであ
りましょう。（ネッ
トワーク図は内閣
府の新法の解説資
料です）同セン
ターを向こう3年
で全国都道府県、
政令市に順次計66
箇所設置の方針。

公的支援を受けるに
は、NPOでない地区会
はNPO法人化が必須要
件です。法人化を真剣
に検討しましょう。

本機関誌は、全
国及び関係国
会議員、厚生
省、文部科学
省、地方自治
体、担当課、
メディア、専
門家、その他
関係者に配布
されます。

29

不登校・ひきこもりの方も安心

自宅学習で
高校卒業。

ウィザース高校・ウィザースナビ高校の特長

- 一人ひとりに合った学習で確実に「高校卒業」
- 担任制による、親身で丁寧なサポート
- インターネットの良さを活かして、学習面・メンタル面の不安を解消

ウィザース高等学校
0120-130-530
http://www.with-us.ed.jp

ウィザースナビ高等学校
0120-780-140
http://www.withus-navi.ed.jp

社会不安障害総合情報サイト

SADとは「Social Anxiety Disorder」の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

- ・おおよそのSAD（社会不安障害）をチェック可
- ・どこへ行けば治療して貰えるの？

全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL: <http://www.sad-net.jp/>

会員・関係各位様

年会費・協賛金 納入のご案内

NPO 法人全国引きこもりKHJ親の会本部

- ・年会費
 - ・協賛金
- の納入のご案内 一口 3,000 円
(平成 22 年 4 月～23 年 3 月まで) 分

〈送金お振込先〉

- ① 同封の払込取扱票（郵便局で）
 - ② 銀行振込 埼玉りそな銀行（七里支店）普通預金、口座
3749884 引きこもりKHJ親の会 代表 奥山 雅久
おくやま まさひさ
 - ③ 現金書留
- 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 1-3-3 奥山 雅久

ひきこもりサポートナビ

当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ（主宰の柳シンクプロジェクト）が主要メディアで紹介され会員が急増中。

URL: www.hikikomori-navi

ひきこもり

今この山を道が...

医学博士 中垣内正和
推薦のことば 精神科医

解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

価格 800 円

ルポ「ひきこもり」

048(758)5705

「大検」は「高卒認定」に進化！

ひきこもりでも自宅からウェブ学習で
1年以内に高卒資格が取得できます！

高認スーパーゲットコース

第一高等学院 www.daiichikoto.net

〒791-0216 愛媛県東温市野田 2-10-35 渡部 浩一